

嘘のような本当の話（9）

私の勝手企画来年の「私の10周年2025」に向けて各方面にアピールを続けておりますが、今のところ、U小判、航空等のエクセレントなコレクションが今年に続いて登場の予定です。

他に「エンボス」「押印」「穿孔」のアルバム50冊のコレクション、二つ折葉書数千枚のコレクション等を含む多くのベテラン収集家の協力の申し出を頂いております。コレクションによってオークションで2～3年の期間を要する大作もありますが、これからも「郵趣」の灯が消えない様尽力して参ります。

※文中店主の妄想、誇大が含まれている部分があり、個々の問い合わせには応じられません。御了承下さいませ。byスタッフ

金坂 忠彦

とんでもない話

オークション出品者よりクレームが届いております。現状の市場で一部不落札になる品物があるのは仕方ないが、間違いなく出品時より明らかに劣化が見られると（指紋の付着等）下見時の収集家の取り扱いに問題有りではないか、未使用ブロック等も含めて繊細な物が多数あり、ピンセットを使わず素手で扱う人がいるのではないかと。

オークショニアとしては全ての下見される会員様に付きっきりで対応することは現実的に不可能です。また、私の記憶としてフロアオークションの下見会場で気付いた事ですが、出品物が貼られている台紙にボールペンで「リガム」と書かれたバインダーがありました。「リガム」の事実は別として、この行為は会員以外には考えられず「とんでもない仕業」です。現認したとすれば即刻退場です。このようなマナー違反の会員がおられる事も残念ですが、オークションは「信義則」を前提として機能しています。出品物の取り扱いも含めお互いに気持ちよく取り引きしたいものです。